

広報



かわにし

平成2年 11/10 No.387

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)

(FAX 0257-68-3828)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き

—11月1日現在—

男 4,472 (-9)

女 4,503 (-11)

計 8,975 (-20)

世帯数 2,229 (-3)

()は前月比較



号砲一発

400余人が健脚を競う

10月7日、川西中学校南側校舎脇を発着地点として、第14回町民マラソン大会が開かれました。

曇り空で気温が低めのマラソンコンディションとあって、好タイムが続出しました。

沿道では、夢中になって身を乗り出して応援している父兄、「ホラ、〇〇頑張れ」などと、大声を張り上げているお母さんの姿も見えました。(大会結果は、7ページに掲載)



休日救急医

11月11日 富田医院(神明町) ☎52-3269

12日 至誠堂医院(西浦町) ☎52-3276

18日 山口医院(袋町) ☎52-2174

23日 大島医院(川原町) ☎52-2957

25日 中条病院(中条) ☎57-3018

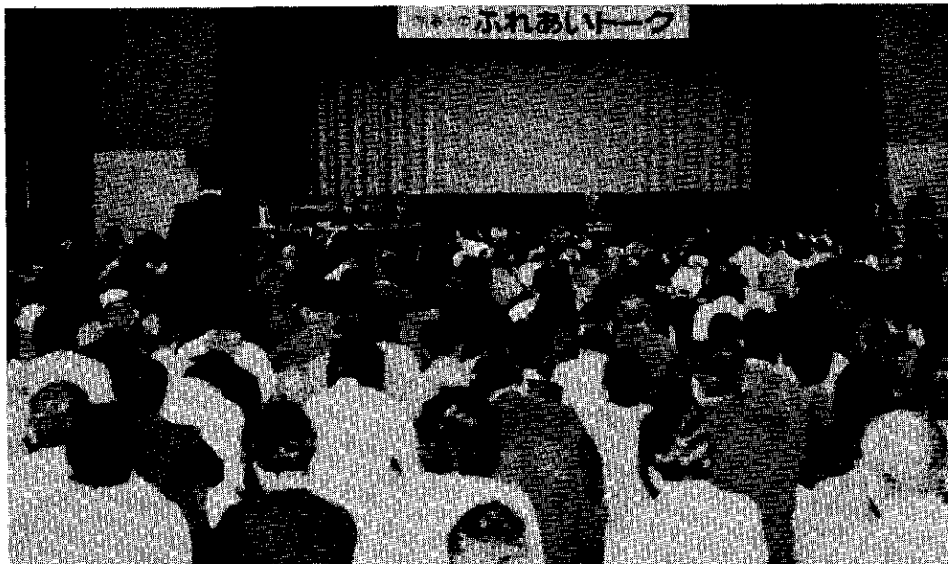
12月2日 第二藤巻医院(上野) ☎68-2018

9日 至誠堂医院(西浦町) ☎52-3276

ひざを交えた 話し合い 知事とのふれあいトーク



入所者の作業を熱心に見入る知事



集った六五〇人の中から、十三人が知事の施政をたどりました（津南町総合センター）

十月二十四日、金子県知事が、津南町で開かれた「知事とのふれあいトーク」に出席の途中、玄関口である川西町を訪れました。

知事は、「なかまの家」に立ち寄り、入所者や地元職員ら、およそ百人の熱い歓迎を受けました。

なかまの家では、入所者が行っている、牛乳パックの再生作業を見学し、熱心に見入っていました。

また、現在造成が進んでいる中子平ふるさと広場について、同施設の屋上から説明を受けました。

『知事とのふれあいトーク』

は、昨年八月の板倉町を皮切りにスタートしたもので、津南町会場は九番目となります。

これは、知事と地域住民がじかに話し合うという企画で、郡市内四市町村、約六五〇余人が参加しました。当町からも六十人程度が参加。参加した住民の中から十三人の発言がありました。

山岸真治さん（霜条）と戸田哲次さん（仁田）の二人が、米作農家の方向付けや、小千谷十日町津南線の改良と除雪対策の推進などについて質問を投げかけ、知事の施政をお聞きしました。

11月11日～17日

税を知る週間

中学生の標語入選作

週間行事の一つとして、郡市内の中学生を対象に標語を募集しました。

町納税教育推進懇談会

〈入選〉

川西中学校からは、次の生徒が入選しました。以下敬称略

十日町税務署長優秀作

税金をみんなて納めて福祉の充実
三年 星名 聡美

同佳作

みんなの税金みんなのために
税金は明るいくらしの生活保障
三年 登坂 玲子
三年 清水 亮

〈佳作〉

この税金むだにしないで親の汗
税金で住みよい豊かな町づくり
税金を納めて豊かな町づくり
納めよう人のため自分のために
税金をみんなて納めて明るい社会
三年 水落江利子 上村量尚
清水恵子 茂野淳一 木村まこと
佐藤けい子 川崎和也 小林憲一 高橋一弘 清水健夫
二年 蔵品芳一
一年 星名恵美子 数藤真弥子
田畑隆行 渡辺智和

作文の部

〈佳作〉

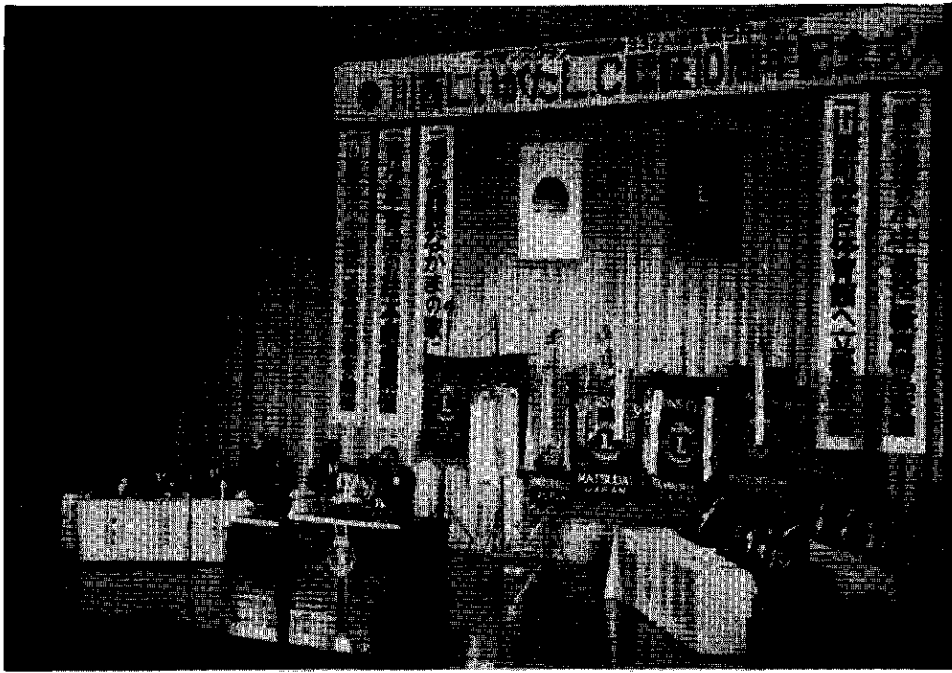
税金について思っていること

三年 星野 一

少年の主張川西中学校
校内大会（7・9）



奉仕の心



かざせ一灯

ライオンズクラブ国際協会333-A地区キャビネット会計 高野興一さんによるガバナーメッセージ

十月二十八日、川西ライオンズクラブ(高橋寛治会長・会員四十八人)の認証十周年記念式典が、およそ五百人の来賓を迎えて、町総合体育館で盛大に行われました。

川西ライオンズクラブは、昭和五十年六月に、県内六十番目に組織され、丸山英郎氏を初代会長に、三十五人のメンバーでスタートしました。

「友愛と奉仕」をモットーに、国道のアキ缶清掃、福祉施設での理髪奉仕、町内保育園へのクリスマス慰问など、地道な奉仕活動を続けてきました。また、六十二年からは、アメリカ、オーストラリアの交換留学生の受け入れを行っています。献眼・献血運動では、地域の先頭に立って活動しています。

十周年記念式典では、大久保三吉式典実行委員長が歓迎のあいさつを行い、高橋会長が「十周年は成人になったばかり、米寿の祝いまで友愛と奉仕の精神で頑張りたい」と決意を述べました。

そして、十周年を記念して、神奈川県・横須賀西ライオンズクラブと姉妹クラブ提携。高橋川西会長と相原恒横須賀西会長が調印しました。さらに、同クラブでは、十周年記念事業として、奉仕地域内の小・中・高等学校に教育備品の寄贈や、青少年育成の絵本劇場の開催、町内小・中・高校による合同演奏会の開催などを計画しています。

社会福祉に一役 チャリティ バザー

十月三十一日、総合センターで、エリカの会(高倉国際村と町内有志で組織するサークル)の発足を記念して、福祉施設への寄付を目的に、チャリティバザーが開かれました。



開場と同時に、お客の列ができました。

保坂社教事務局長に寄付金を渡す丸山有志代表



できたら」ということが実り、今回、町内有志の方々と一緒に、なって実施されたものです。

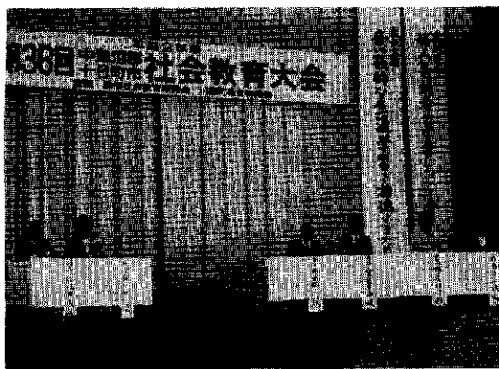
会場には、日常生活品や食料品など、多くの品が寄せられました。また、町では珍しい事業とあって、五十川庚平さんは草の水彩画を、藤巻秀正さんは絵皿を、佐藤達さんは油絵をそれぞれ協力出品し、バザーの収益向上に一役買いました。

バザーは、千点を超す品が集められ、午前十時の開場から三、四時間で売り切れとなってしまった盛況ぶりでした。

この催しによって得た収益は、渡辺エリカ高倉国際村長と町内有志代表によって、十月二十七日、社会福祉協議会と「なかまの家」に寄付されました。

意欲的な生涯学習推進を

十月三十一日、千手小学校体育館で、およそ二百人が参加して、郡市社会教育大会が開かれ



実践発表のもよう

ました。

この催しは、毎年開かれていて、今回で三十六回となります。

午前は、「婦人、高齢者の学習について考える」という内容で、各市町村から一人ずつ実践発表がありました。当町からも南雲一枝さん（中央町）が発表をしました。

午後からは、新潟大学教育学部社会教育研究部の相庭和彦さんによる「生涯学習における各期のあり方」と題した講演が行われました。

生涯教育・生涯学習と言われるようになった経緯や、各時期

にあった教育はどうしたらよいかなど、専門的な分野でお話がありました。

生涯教育の時代は、自分たちの一生をどうやって生きていっていいかということや学ぶと同時に、学びやすい社会を自分たちの手で作っていく、社会に参加していく、そういう時期と考えてもよい。

社会教育などの講座も、ただ単に行って話を聞いて感動して帰ってくるという動きから、その講座を自分たちの手で作っていくという動きが大事である。だからが作った船に乗るのでなく、自分たちで作る。その作っていく過程が学習行為として生涯教育体系を形成するものではないか、と結んでいました。

密接な連絡を保ちながら、国民健康保険事業疾病予防に力を注ぎました。

とくに、冬期間の孤立集落やへき地の無医集落での保健婦活動を実施。また、健康モデル集落を設置し、住民の健康に対する意識の高揚を図り、各種検診率の向上や健康に対する講演、多受診世帯の指導を長年の保健婦の実績と手腕により手がけられました。その功績が認められたものです。

保健婦続けて 三十九年 高橋さんに 厚生大臣表彰

十一月二日、東京霞が関の中央合同庁舎で、国民健康保険関係功労者表彰がありました。当町から、保健婦の高橋アサさん（56歳）が厚生大臣表彰を受けました。

高橋さんは、昭和二十六年九



月に仙田村役場保健婦として採用されました。以来、現職（昭和三十五年五月）昭和四十年十一月までは十日町病院の保健婦として勤務。町保健婦としての期間（三十二年三月）として、こまめに家庭訪問し、住民との

五十五年ぶり の ふるさと帰り

三領出身で、昭和十年（一九三五）にブラジルに移住した斎木千代吉さん（73歳）が、九月二十四日から十月十二日まで滞在。故郷の生活を満喫して帰られました。

斎木さんは、大正六年（一九一七）に父熊吉さん、母マキさんの次男として生まれました。十八歳のとき、日本からの七十世帯とともに家族全員（父、母、兄弟六人、幼女一人）でブラジルに移住。アマゾン川流域のパリンチンスに入植しました。一家全員で山野を開拓し、コ



斎木千代吉さん（中央）、ユリ子さん（左）と南雲町長

ショウ、カカオ、ゴムなどを栽培。厳しい生活を支えながら、良い土地を求め居住地も数カ所移転しました。そして、三十年前に、現在の一家を構えるパラ州に移りました。

昭和二十年（一九四五）に斎木さんは結婚し、五人の男子と三人の女子が授かりました。しかし、長男の孝明さんを交通事故で、また、三人の兄弟も亡くしました。さらに、奥さんの敦さんも雷事故で二十八年前に亡くしてしまいました。

現在は、四男の仁さん家族と生活され、常時五人の現地人も雇っています。収穫時などの多忙期には三十人ほどの人を使つて六十ヘクタールの土地を耕作し、コショウ、カカオ、ゴムなどの栽培をはじめ、畜産など手がけています。

今回の帰国は、「（社）海外移住家族会」の、五十年以上帰国していない人を母国に招待する企画で実現したもので、妹のユリ子さんとともに帰国しました。

斎木さんは、従妹の水品リツさん（三領）宅に滞在して、関係者の温かいもてなしを受けました。また、小学校当時の同級会に出たり、部落の歓迎会にも出席したり、懐かしい日々を過ごしました。

平成2年国勢調査(概数)と昭和60年国勢調査の比較

事項 町名	2年国勢調査				60年国勢調査				比 較			
	世帯数	男	女	計	世帯数	男	女	計	世帯数	男	女	計
中 島 町	47	78	86	164	44	82	84	166	3	△ 4	2	△ 2
山 野 田	29	57	60	117	31	60	65	125	△ 2	△ 3	△ 5	△ 8
発電所通り東	37	69	73	142	34	70	79	149	3	△ 1	△ 6	△ 7
発電所通り西	41	76	86	162	42	77	92	169	△ 1	△ 1	△ 6	△ 7
鉄道アパート	5	5	8	13	7	10	11	21	△ 2	△ 5	△ 3	△ 8
栄 町	70	115	111	226	43	81	81	162	27	34	30	64
山野田住宅	7	4	6	10	12	9	7	16	△ 5	△ 5	△ 1	△ 6
県 営 住 宅	9	8	4	12	10	8	7	15	△ 1	0	△ 3	△ 3
朝 日 町	32	73	63	136	26	55	45	100	6	18	18	36
四 郎 兼	31	61	62	123	32	68	69	137	△ 1	△ 7	△ 7	△ 14
東 善 寺	31	55	61	116	37	72	83	155	△ 6	△ 17	△ 22	△ 39
上 町	24	48	48	96	25	52	55	107	△ 1	△ 4	△ 7	△ 11
中 央 町	29	47	49	96	31	51	55	106	△ 2	△ 4	△ 6	△ 10
田 中 町	39	80	82	162	40	83	82	165	△ 1	△ 3	0	△ 3
神 社 町	31	67	70	137	32	64	73	137	△ 1	3	△ 3	0
学 校 町	60	107	107	214	60	120	119	239	0	△ 13	△ 12	△ 25
中 屋 敷	41	86	90	176	44	89	100	189	△ 3	△ 3	△ 10	△ 13
寺 尾	43	85	74	159	47	85	76	161	△ 4	0	△ 2	△ 2
木 島	57	102	107	209	59	113	121	234	△ 2	△ 11	△ 14	△ 25
沖 立	86	182	184	366	86	191	195	386	0	△ 9	△ 11	△ 20
伊 友	73	164	177	341	75	168	179	347	△ 2	△ 4	△ 2	△ 6
高 原 田	63	127	135	262	66	130	140	270	△ 3	△ 3	△ 5	△ 8
坪 山	45	105	114	219	46	112	111	223	△ 1	△ 7	3	△ 4
霜 条	43	89	89	178	42	87	81	168	1	2	8	10
鶴 吉	10	24	22	46	11	27	28	55	△ 1	△ 3	△ 6	△ 9
小 計	983	1,914	1,968	3,882	982	1,964	2,038	4,002	1	△ 50	△ 70	△ 120
上 野	184	362	354	716	181	354	371	725	3	8	△ 17	△ 9
元 町	56	128	119	247	59	133	136	269	△ 3	△ 5	△ 17	△ 22
新 町 新 田	73	149	151	300	72	152	161	313	1	△ 3	△ 10	△ 13
下 平 新 田	50	97	86	183	53	106	87	193	△ 3	△ 9	△ 1	△ 10
三 領	29	56	56	112	29	65	58	123	0	△ 9	△ 2	△ 11
小 根 岸	16	33	39	72	18	39	37	76	△ 2	△ 6	2	△ 4
なかまの家	1	34	26	60	1	16	14	30	0	18	12	30
小 計	409	859	831	1,690	413	865	864	1,729	△ 4	△ 6	△ 33	△ 39
木 落	94	214	198	412	90	190	203	393	4	24	△ 5	19
寺 ケ 崎	10	18	20	38	13	25	23	48	△ 3	△ 7	△ 3	△ 10
塩 辛	18	44	45	89	19	40	46	86	△ 1	4	△ 1	3
仁 田	142	271	296	567	146	279	304	583	△ 4	△ 8	△ 8	△ 16
野 口	117	243	253	496	115	241	259	500	2	2	△ 6	△ 4
四 十 歩	2	4	3	7	2	4	4	8	0	0	△ 1	△ 1
原 田	27	63	67	130	31	74	71	145	△ 4	△ 11	△ 4	△ 15
根 深	20	40	46	86	21	45	51	96	△ 1	△ 5	△ 5	△ 10
下 原	19	35	41	76	19	40	52	92	0	△ 5	△ 11	△ 16
小 計	449	932	969	1,901	456	938	1,013	1,951	△ 7	△ 6	△ 44	△ 50
中 仙 田	112	200	202	402	114	219	230	449	△ 2	△ 19	△ 28	△ 47
室 島	58	112	105	217	61	114	120	234	△ 3	△ 2	△ 15	△ 17
小 脇	16	24	27	51	22	38	37	75	△ 6	△ 14	△ 10	△ 24
高 倉	17	26	25	51	30	54	41	95	△ 13	△ 28	△ 16	△ 44
藤 沢	0	0	0	0	1	3	2	5	△ 1	△ 3	△ 2	△ 5
田 戸	21	30	28	58	25	38	45	83	△ 4	△ 8	△ 17	△ 25
越 ケ 沢	0	0	0	0	1	1	3	4	△ 1	△ 1	△ 3	△ 4
赤 谷	53	113	109	222	55	109	126	235	△ 2	4	△ 17	△ 13
岩 瀬	51	97	97	194	55	105	105	210	△ 4	△ 8	△ 8	△ 16
大 倉	6	7	7	14	9	14	13	27	△ 3	△ 7	△ 6	△ 13
大 白 倉	26	36	39	75	34	50	55	105	△ 8	△ 14	△ 16	△ 30
小 白 倉	45	77	78	155	57	108	111	219	△ 12	△ 31	△ 33	△ 64
小 計	405	722	717	1,439	464	853	888	1,741	△ 59	△ 131	△ 171	△ 302
合 計	2,246	4,427	4,485	8,912	2,315	4,620	4,803	9,423	△ 69	△ 193	△ 318	△ 511

(注) 後日総務庁統計局で公表する数字と異なる場合があります。

夢・フライト事業

絵画・作文コンクール

入賞者発表

先生方による、
絵画選考
のしよう



九月一日から四日間、ふるさと創生事業の一つとして実施された「夢・フライト事業」の絵画・作文コンクールに、六四三人の応募がありました。

十月十七日、町教育振興会、各学校の教頭、町関係者らが審査し、次のとおり入賞者が決まりました。

作品は、十一月十日、十一日、総合センターの「町民文化祭かわにし90」で展示される予定になっています。また、本紙十二月号から順次作品を紹介する予定です。（敬称略）

絵画・奨励賞

千手小学校	一年	柄沢 洋輔
〃	一年	北村 果澄
〃	三年	木村 友士
〃	三年	藤田 啓吾
〃	五年	高橋 伸一
上野小学校	二年	清水 拓
〃	二年	中島 妙子
〃	二年	渡貫 正嗣
〃	二年	押木 拓巳
〃	二年	高橋 和則
〃	二年	金子 歩美
橋小学校	五年	戸田美保子
仙田小学校	一年	増田 啓介
〃	三年	小林 美喜
〃	一年	小川 真紀
〃	一年	水品 学美
〃	一年	北野めぐみ
〃	一年	高橋 幹夫

絵画・アイデア賞

千手小学校二年一組学級作品
〃 三年グループ作品

〃 丸山 英明
〃 高橋 史子
〃 保坂奈穂美
〃 西野 健

〃 四年グループ作品
〃 小野塚梨恵
〃 平野 千秋
〃 野上真理子
〃 星名 陽子

〃 六年グループ作品
〃 村山 正浩
〃 蔵品 和臣

〃 六年グループ作品
〃 久保田和美
〃 高橋ルミ子
〃 丸山由加里
〃 登坂 郁菜
〃 金子 博美
〃 桐生 千恵

作文・奨励賞

千手小学校四年
〃 四年 窪田 明香
〃 四年 保坂 優海
〃 六年 門脇 真琴
〃 六年 嶋原 愛
〃 六年 関口 厚美
〃 六年 小川 千春
〃 五年 今井 尚徳
〃 六年 田村裕美子
〃 三年 池竹 祐子
〃 四年 戸田 和樹

橋小学校 五年 羽鳥奈穂子
〃 五年 水落沙緒理
仙田小学校一年 高橋 咲子
〃 一年 金子 実寛
〃 二年 小林加代子
〃 二年 高橋 宏美
〃 三年 丸山 良亮
〃 五年 長谷川正和

仙田小学校六年 小林 健一
白倉小学校三年 片桐八千代
〃 四年 中村 光宏
〃 六年 佐野千恵望
川西中学校一年 戸田 直樹
〃 一年 目黒貴美恵
〃 一年 平沢 孝志
〃 一年 櫃間 悠
〃 一年 春日麻由美

平成三年度

幼稚園児 保育園児

申請書に添える書類（用紙は、幼稚園、各保育園、役場福祉係にあります）

- ・勤めている人の家庭は、事業主発行の勤務証明書
- ・内職をしている家庭は、事業主発行の内職証明書
- ・自営業や農業に従事している家庭は、自営業・農業従事者確認申請書
- ・病人のいる家庭は、医師の診断書

注意していただきたい事項
・心身の障害などで団体生活ができない児童は、入園できないことがあります。

・家庭内に入園希望児が二人以上いるときは、各児童ご

入園申請受付
11月13日～26日

募集人員と申請書提出場所

幼稚園 保育園	募集人員	入園区域	申請書提出場所
幼稚園	入 60 五歳児 45	全町（ただし、役場福祉係管内を除く）	役場福祉係窓口
千手	80	千手	千手
原野	45	原野	原野
上野	70	上野	上野
橋	90	橋	橋
仙田	45	仙田	仙田

・とに申請してください。
・家庭状況をお尋ねします。
申請書は、直接、家族の方が持参してください。
・現在、入園中で引き続き入園を希望する児童も、申請してください。

問い合わせ先
保育園は、役場福祉係
幼稚園は、教育委員会

体育協会功労者を表彰

体育功労者ら、十九人・二団体を表彰



十月七日、川西中体育館で、第十一回町体育協会体育功労者、優秀競技者などの表彰が行われました。

ことしは、清水京平さん（上野）

を体育功労者として表彰しました。清水さんは、町体育協会の組織づくりに尽くされ、今日の野球協会の基礎を築き、会長当時に優勝旗を自ら寄贈されたことなどによるものです。

また、四人の方々に感謝状が、優秀競技者十一人に表彰状とメ

ダルが、努力者三人・二団体に表彰状がそれぞれ贈られました。受賞された方々は次のとおりです。（敬称略）

◎体育功労者

野球 清水京平（80上町）

◎感謝状贈呈

船山春雄（39豊栄市在住）
和田義実（35新潟市在住）
中川信男（34中条町在住）
加藤一美（25新津市在住）

◎優秀競技者

卓球 渡辺一治郎（51中屋敷）
村山繁正（40野口）
山岸直子（37霜条）
渡辺卓也（19中屋敷）
相崎幸子（19田中町）
木村まこと（15新町新田）
相崎伸幸（14水口沢）
上村量尚（14山野田）
村越ルミ（14野口）
仲嶋泉（19上野）
丸山正洋（18原田）

◎努力者

ホッケー 太田公仁（26山野田）
陸上 清水貴宏（18東善寺）
小海 裕（17木島）
川西中学野球部
川西高校野球部

第14回

町民マラソン大会

大会結果

【Aコース】（1.5km）

小学生低学年男子

- ①丸山健士（橘）
- ②藤原弘生（〃）
- ③大久保峻（〃）
- ④山家正史（〃）
- ⑤片桐健太（〃）
- ⑥高橋和也（千手）

小学生低学年女子

- ①野沢佳代（橘）
- ②清水孝子（千手）
- ③井上冴子（〃）
- ④村山祐子（上野）
- ⑤戸田万里子（橘）
- ⑥小野塚美紀（千手）

【Bコース】（2.5km）

小学生高学年男子

- ①沢潟誠也（千手）
- ②村山正浩（〃）
- ③星名康宏（〃）
- ④柄沢孝洋（〃）
- ⑤高橋伸一（〃）
- ⑥井上吉典（〃）

小学生高学年女子

- ①中村早苗（千手）
- ②佐藤有子（〃）
- ③小林純子（〃）
- ④柳香織（〃）
- ⑤柄沢英理子（〃）
- ⑥久保田和美（〃）

一般男子

- ①山口 清

【Cコース】（3.5km）

中学生女子

- ①藤田希美子

- ②高橋祐子
- ③星名真弓
- ④野沢三枝
- ⑤大塚美奈
- ⑥清水祐美

一般男女

- ①武田雅人
- ②丈矢嘉之

【Dコース】（6.8km）

中学生男子

- ①渡貫克典
- ②高橋和巳
- ③小海基孝
- ④風間裕孝
- ⑤高橋和久
- ⑥清水 孝

一般男子

- ①小海 裕
- ②小林正樹
- ③桐生 信秀

ある青年会の記録 ⑨

岩瀬金子幸作

明治天皇の御一年祭

大正二年（一九一三）七月拾七日、三ヶ部落ノ重立、軍人、青年、婦人の合同会議開催ニツキ、午前八時白倉校ニ赴ク。

石渡校長口ヲ開キ、「本月三十日ハ明治天皇様御年祭ノ当日ナリ、最早期日モ切迫ナシ、何レ挙行ノ事ニアレバ其準備トシテ御相談申度キ儀ナリ、其方法ハ如何ニ」ト原案ヲ提示サル。

某氏曰ク、「昨年ノ選擇式ニ準ジテ挙行サレテハ」ト伝フ説ニ、一同異議ナク賛成ス。

七月卅日、三ヶ字区民白倉校ニ集合シ、恐惶謹ミテ明治天皇様御一年祭ノ式ヲ挙行ス。校長ノ勅語奉読、各団体代表ノ玉串奉呈アリテ午前拾一時散場。

婦人会と交流

日露戦争の前後から、各集落に婦人会が組織される。これらの団体は、会員の親睦と地域の進展を目標に社会活動を展開するが、「男女七歳で同席せず」の時代は青年会との交流がタブー視される。明治が終わると、

当局の指導もあつて双方が手をつなぐ時世になり、小白倉の青年たちもためらい、緊張する。

七月卅一日青年俱樂部ニ於テ婦人会ト交際スルノ重要ナ問題ヲ協議シ、左ノ如ク決議ス。

婦人会トノ交流ヲ図ル為、從來ノ非青年的主張ヲ打破シテ、本会ニ婦人接渉委員長ヲ置ク。

婦人接渉委員長ハ、婦人ニ係ル問題ヲ総理ス。但シ自分一人ニテ謀ラヒ兼シ時ハ会長ニ謀リ、幹部、有力者立会ヒ決スベシ。

会長ノ許可ヲ得ズ、婦人ノ集会ニ臨席シタル者ハ加罰ス。

婦人ニ礼ヲ失ヒテ本会ノ体面ヲ汚シタル者ハ、永久脱会及ビ一時脱会ニ処ス。脱会者ト交際シタル者アラバ同罪トス。

反目し合う村々

明治、大正期までは、隣村同志の百姓衆が反目して衝突する例が少なくない。中仙田は東と西で反りが合わず、それを青年たちが代弁する形で、渡海川を挟んで言いたい放題に怒鳴り合う。

赤谷と岩瀬の子供たちは、旧

正月の十五日にけんかをする。

赤谷の子供が山の上で、「岩瀬異などこ大の糞」と怒鳴る。岩瀬の子供は、「赤谷、赤い火事ボーボー」と反撃しながら山頂をめざす。石や雪つぶてを投げ合い、ケガ人も出る騒ぎを明治

の中期まで繰り返し、大正期に、ときの赤岩校長が和解させるまで嫌な小ぜり合いが続く。

川西郷の随所で、激しい水論争がおこっている。刈干山の所有をめぐる、元禄二年（一六八九）におきた沖立と稲葉の論争は、二六七年も交際断絶が続いて昭和三十一年に和解する。

上野と鶴吉にも山論争がおこる。

大・小白倉の争い

小白倉と大白倉でも、若い衆が主導権をめぐって激しく対立した時期があり、その経緯が下組青年会の記事に見える。

八月拾五日、下組青年会ノ夏期講習ニ、大白倉ヨリ一名モ出席ナキ為、之ヲ処理スル事ヲ謀ル。此問題ヲ多人数ヲ協議スレバ、却ツテ騒音ニ走りテ功ナキ

恐れアリ、故ニ、委員七名ヲ挙ゲテ其対応ヲ慎重ニ審議スル。

八月拾六日、午前八時ヲ以テ白倉校ニ集合シ、大白倉青年ノ来校ヲ待ツモ来ラズ、悪口雑言ニ走ル。一時間過ギシカドモ来

校ナキ為、使者一名ヲ大白倉ニ走ラセシガ、其者帰校シテ曰ク「本日、若イ衆ハ上野村新町ノ青年角力場へ見物ニ行キ、村ニハ一人モ居ラズ」トノ事。

「大白倉青年ノ如キ愚図は、我等ノ如キ賢才ナル者ト連合スレバ却テ汚顔ノ弊アル故」等ト語り。又々憎シミナガラ退校ス。

大白倉の青年たちが集結した

十二社（8・30）



村境で風雲急に

拾六日夜拾時頃、全会員ガ神社ニ集合シ、大白倉青年ヲ呼びシモ来ラズ。不本意ヲ村境迄行キ、大白倉神社ニ集合シ居ル青年ニ村境迄来ル様ニ使者ヲ飛ばシ、両村青年此処ニ相対ス。

小白倉青年ノ代表徐々ニ口ヲ開キ、「共同心ニ乏シク、且非人道的ナ手段ヲ用ユル大白倉青

年ノ弊風ヲ矯正シ、下組青年会員トシテ行動スル事」ヲ促ス。

大白倉青年片桐順蔵代表ノ答弁ハ、「下組連合青年会ナルモノ、何時組織サレタルヤヲ知ラズ。出席セズトモ何等差支ナシト存ズル所、今般云ヒ掛リヲ受ケシハ実ニ存外ナリ」ト云フ。

小白倉青年再び答ヒテ曰ク、「成程、連合会ナルモノ、会則ナキ上ハ組織ナシト語ルヲ尤モトスル可キヤモ知レズ。然ラ、從來大小白倉大員ノ三ヶ村ガ万事共同ニテ来シ事ハ明白ナリ、故ニ下組青年ガ連合シ、親密ヲ得テ事ニ当ルベキ云々」

有志ほん走で和解

此晩時刻ハ早拾二時ヲ過グ。小白倉会長江口郵治君曰ク、「今夜ハ最早時刻モ切迫シタル故、衛生上モ害ナシトセズ、依テ本件ハ多数ニテハ却テ其要ヲ得ズ、故ニ双方ヨリ委員ヲ挙ゲテ審議解決シテハ如何」ト謀リシニ、大白倉ヨリモ反省ノ弁アリテ委員ニ附記スル事ヲ可決ス。

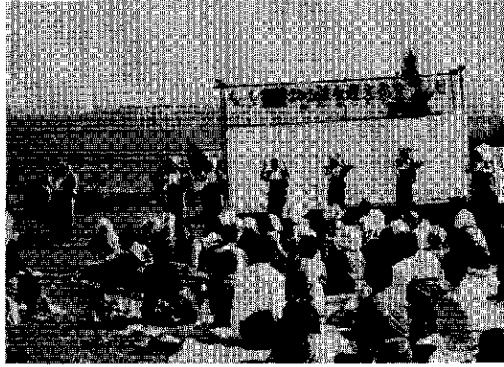
翌十七日、大白倉から異議が出て、せつかくの決議が白紙撤回される。以後は、一触即発の不穏な事態が数日も続くが、会の有志や村重立のほん走で和解し、八月二十五日、白倉校で円満に手打ちが行われる。

8

みんなで手作り みんなで楽しむ

十月二十一日、「なかまの家」で、収穫文化祭が開かれました。当日はおよそ六〇〇人が集まり、本格的な和紙の紙すき体験教室や、いろいろな催しものコーナーで、楽しい一日を過ごしました。

ステージでは、入所者によるのど自慢大会や福引きクイズ大会などが行われ、十日町市・塩沢町の愛好者による、尺八・三味線演奏などもありました。保護者が中心となった模擬店や、即売会も好評でした。



保護者による踊り

こんな大物を を釣上げた

十月十日、町商工会仙田支部（小林義幸支部長）主催による淡海川魚釣り大会が開かれました。室島の深瀬橋下流から、岩瀬橋下までの区間で、およそ六十人の太公望が参加しました。この催しは、今回で十七回を数え、地域の人たちはもとより、町内・外からの参加者も多く、釣りの腕前を競う大会の一つとして定着しています。

今回は顔なじみの人も多く、終始なごやかな雰囲気の中で競技が行なわれました。釣り上げられた魚が競技本部に届くと、参加者が集まり、獲物の品定めに一喜一憂していました。

また、主催者の用意した昼食やコイコクを食べながら、お互いの奮闘ぶりを話し合っていました。

入賞者は、次のとおりです。



重さを見る目も真剣に

（敬称略）

大漁の部

優勝 宮沢喜代治（十町市）

二・二二キロ

準優勝 小林 健治（中仙田）
努力賞 庭野 一夫（赤谷）

大物の部

優勝 小林 貞信（中仙田）

準優勝 渡辺 豊国（十町市）
努力賞 樋口 徹（中仙田）

特魚の部

優勝 富井 正雄（上野）

準優勝 羽鳥 昇伊（友）
ナマズ六〇〇グラム

生涯学習シリーズ (6) 《成人の学習を考える》

技術革新が急速に進み、社会や経済がめまぐるしく変化している今日では、学校で修得した知識や技術だけでは間に合わず、絶えず学習を続ける必要に迫られています。世はまさに生涯学習の時代なのです。

パソコンやワープロを導入した企業では、できるだけ多くの社員に操作や活用方法を知ってもらうために研修会を実施しています。このように日本の場合には長期雇用が一般的ですから、特に教育訓練には熱心だといわれています。

しかし、私たち成人は、仕事にかかわる学習だけでなく、自らの成長のためにも生涯学習の観点に立った学習を心がけていきたいものです。なぜなら、平均寿命が延びたことによつて退職後の人生が長くなり、老後の生活設計のためにも若いころからの学習が必要になってきたからです。「二人の人間」としての知識や資質を備える……そのためには、仕事から離れた分野にも常にアンテナを張りめぐらす生涯学習の実践が重要なのです。

成人が生涯にわたつて学習できる機会はいくさんあります。

都道府県や市町村が開設する学級や講座、大学や高校の公開講座、社会通信教育、カルチャーセンターなどさまざまです。また、本を読んだり、放送番組を視聴したりすることも個人学習です。要は、自分が学習したいと思う内容やレベル、そして自分に合った学習方法で、豊かな学習環境を上手に利用することでしょう。

さあ、気持ちにゆとりをもつて、文化やスポーツに親しみ、生涯を楽しく学びましょう。



ビデオ撮影教室（7, 5）

△新刊書の紹介▽

- 小児病棟の子供たち 向井承子
○お母さんの仕事、お父さんの
仕事 向井承子
○妻有郷の歴史散歩 佐野良吉
○銀色のあしあと 星野富弘
○風の旅
○愛、深き淵より
○鈴の鳴る道
○きのね 上・下 宮尾登美子
○夜の終り 北方謙三
○本を読む女 林真理子
○川の流れのように美空ひばり
○花の嵐 上・下 清水一行
○美智子妃 河原敏明
○淑女失格 佐藤愛子
○落第坊主の履歴書 遠藤周作
○うたかた 上・下 渡辺淳一
○飾り火 上・下 連城三紀彦



星空の

A black and white photograph of a person from the waist up, wearing a light-colored t-shirt. The t-shirt features a large, dark graphic of a dog's head, possibly a bulldog or pug, in the center. The person's face is obscured by a solid black silhouette. The background is a light, textured surface.

ちいさな展覧会

仙田小学校

10

高円寺で

ふれあい広場



つきたてのおモチは最高だ

善意

(敬称略)

一般寄付

(株)丸山工務所(十日町市)百万円
内山 寿孝(所沢市) 十万円

東北電力(株)

十日町営業所 街路灯 二灯

広報発行に

岡村ふじ江(沼田市) 三千元
土肥 正栄(墨田区) 九千元

停電のお知らせ

11月 16日(金)

中島町の一部

午後1時～3時30分

十月七日、東京高円寺で、町商工会青年部は、ふれあい広場を開きました。この催しは、今回で五回目となります。

「おれ、キノコ採りに行くなんて生まれて初めてだナ」と言つた彼が、キノコの代りに二十五センチもあるかと思われるカエルを捕まえてきた。「これも東京で売つてみようぜ」……そんなキノコ採りからこのふれあい広場は始まりました。

このふれあい広場は、町の特産品(漬物、ソバ、コイのうま煮、モチなど)を販売するとともに、各種イベントを行うことで川西町を知ってもらおうというもので、地元出身者多数を含む、延べ千人ほどの人が参加しました。

青年部が苦労して採つたキノコを使ったキノコ汁、地酒の試飲、とりわけ人気の高かったのが、新米で作つたオニギリでした。季節感のない東京で、田舎ならではのイベントは、ささやかな秋の風となつて届きました。地元高円寺の近所の方からは「こしも来たんだね」と、親しげに声をかけられ、回を重ねるごとに、このふれあい広場も定着してきたようです。

年金受給間近なみなさまへ

年金受給準備をお忘れなく

満六十歳になると、国民年金被保険者の資格がなくなります。長い間保険料を納めていただき、大変ありがとうございました。

今度は、年金を受ける資格が得られます。楽しみでもあり、また心配の点も多くあると思います。

年金の受け取りは、普通は社会保険庁あてに裁定請求書を提出することによって年金を受ける権利が発生し、翌月から年金の支払いが始まります。

そこで、年金受給のための準備についてお話しします。

◎国民年金だけに加入されている方(役場で裁定請求手続きができます)

準備するものは、あなたの年金手帳。あなたの配偶者がすでに年金を受けている場合は、その年金証書。

自分名義の預金口座の番号と印鑑などをお持ちのうえ、年金を受けようとする年の誕生日にいったら、遅れずに窓口で相談(手続き)をしてください。

◎国民年金や厚生年金など、いくつかの年金に加入したことのある方(社会保険事務所へ裁定

請求をすることになります。役場の窓口でも相談を受けましたし、請求準備のお手伝いをいたします。

準備するものは、国民年金のみの方と同じものが要です。しかし、厚生年金など、加入期間がはっきりしない方は、次のものが必要となり、取りそろえるのに時間もかかりますので、誕生月の三カ月前くらいに一度ご相談ください。

本人の公的年金加入期間の期間確認証明、これは、社会保険事務所に証明書を請求することになり、証明書が手に入るまでに三カ月程度必要です。

近年、六十歳、六十五歳到達者には、いくつかの公的年金に加入されたことのある方が大勢おられます。そして、どの年金を何歳から請求したら今後の年金額がいくらになるか、大変複雑になっているのが現状です。

長年にわたり、保険料を納めていただいた皆様には、年金の受け取りは慎重にし、納得したうえで裁定請求をしてください。不明の点がありましたら、年金係までご相談ください。

戸籍の窓から

たかきこー円満に

丸山 博 霜条

林 淑子 十日町市から

引間 寿浩 坪山

高橋 佳代子 伊勢平治から

小堀 良和 霜条

高橋 真希子 坪山から

(羽)鳥 達人 伊勢平治

横間 浩美 伊勢平治から

茂野 文男 高原田

南雲 晴美 十日町市から

うぶ声—おすこやかに

高橋 厚 佐久平

星野 涼太 和一

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

星野 和一 二男 野口

赤ちゃん

元気に育っていますか

母子保健事業の一つに新生児産婦の家庭訪問の制度があります。この仕事にご協力いただいている助産婦の皆さんにお尋ねしました。

どの計測や相談を受けています。また、産婦さんの検尿や受胎調節の相談も受けています。

○ どんな相談が多いですか

○ 最近では湿しんの相談が多くありますし、体重が増えないなどの相談があります。

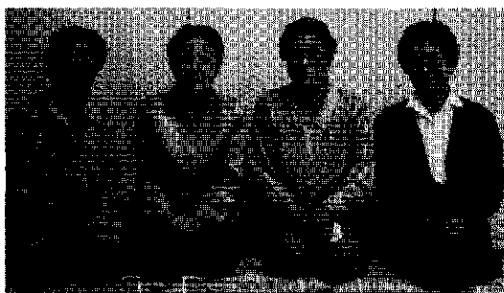
○ 訪問で気付くことはありますか

○ 赤ちゃんが母乳を飲みやすいように、座布団などを使うようにし、胸元を大きく開くように話しています。また、冬は暖房しすぎるようです。

○ 赤ちゃんの背中に入れたみて、汗をかいていたら暖かすぎます。

○ 子育てについて感じることは、母乳を出す努力をしてほしい。ミルクにしてしまう傾向があり残念です。

○ 赤ちゃんは、本どおりにいかない場合が多くあります。経験者であるおばあちゃんの知恵をかり、家族の一員としてのびのびと育ててもらいたいと思います。



新生児産婦の家庭訪問制度にご協力いただいた二さん(左から、和久井戸田貞子、中条セイ、押木モト)の皆さん